

平成28年度の事業の概況

預金

期末残高は、個人預金、法人預金、公金預金が増加したことから、前期末に比べ5,381百万円増加し、120,723百万円となりました。

貸出金

期末残高は、前期末に比べ3,032百万円減少し、50,871百万円となりました。

損益

経常収益は、貸出金利回りの低下により貸出金利息が減少したことなどから資金運用収益が減少したほか、国債等債券売却益が減少したこと等を要因として前期比14.9%減少し2,278百万円となりました。

一方、経常費用は、あなたい支店の開設に伴う費用を計上したものの、国債等債券売却損が減少したこと等から、前期比9.1%減少し1,878百万円となりました。

この結果、経常利益は前期比34.8%減少し399百万円、法人税等を控除した後の当期純利益は同22.8%減少し313百万円となりました。

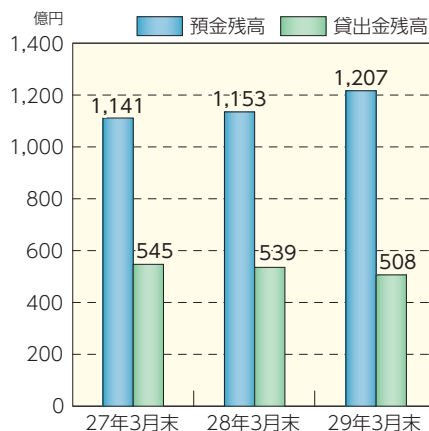
自己資本比率

自己資本比率は、リスクが発生する可能性のある資産（リスク・アセット）に対する出資金や利益準備金、諸積立金など（自己資本）の比率で、金融機関の経営の健全性・安全性を示す指標です。

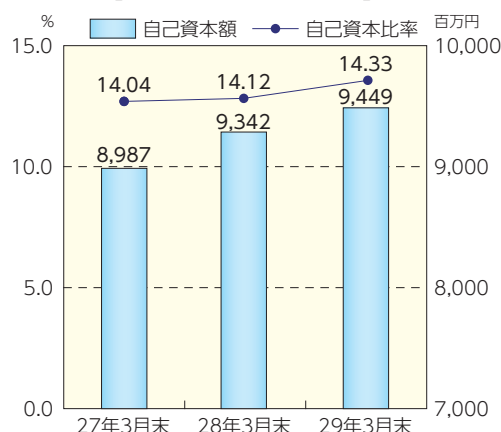
平成29年3月末の自己資本比率は“14.33%”となり、健全性の基準とされる4%を大きく上回る水準を維持することができました。

当金庫は、これからも自己資本の充実を図り、経営の健全性と体力の強化に努めてまいります。

【期末残高の推移】



【自己資本比率の推移】



直近5年間の主要な経営指標の推移

項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
経常収益	百万円	2,698	2,908	2,371	2,679	2,278
経常利益	//	547	392	710	612	399
当期純利益	//	361	181	448	406	313
出資総額	//	449	460	465	475	483
出資総口数	千口	898	920	930	950	967
純資産額	百万円	8,891	8,661	9,806	10,352	10,295
総資産額	//	124,223	125,893	126,205	128,237	133,367
預金積金残高	//	113,144	114,838	114,154	115,342	120,723
貸出金残高	//	55,281	54,563	54,598	53,903	50,871
有価証券残高	//	43,556	41,723	44,880	46,507	46,103
自己資本比率	%	14.06	13.43	14.04	14.12	14.33
出資に対する配当金	百万円	17	18	18	18	19
役員数	人	12	12	12	12	11
うち非常勤役員数	人	5	5	5	5	5
職員数	人	145	150	149	149	148
会員数	人	10,604	10,919	10,986	11,240	11,498